

かすがい
CONTENTS
No.155
2022 February



シンボルマークの由来
日本列島を抽象化し、赤の箇所が千葉県を指しています。
デザイン:元会長 荻原 幸雄

02 Greeting

ご挨拶

副会長 井桁 正昭

03 Reports

建築相談調査委員会 青山 貴仁

04 Contribution

まち紹介

成田「成田山新勝寺と表参道を歩く」 橋本 修一

09 Contribution

まちの情景と建築 田中 修一

【世界編】震災復興 リスボン・リベルターデ大通り

【日本編】平安京遷都 京の町割り

11 Reports

景観まちづくり通信 銚子のまち歩き 出堀 義夫

12 Reports

支部だより 君津支部 支部長 吉野 寛

13 Reports

賛助会だより

14 Reports

建築士事務所登録証明書発行について

15 Board of directors

理事会報告

令和3年度第2回(6月) / 令和3年度第3回(8月)

17 Reports

一級・二級・木造建築士定期講習 受講ご案内 / 管理建築士講習 受講ご案内

19 会員の動静 / 会員の特典

20 事務局だより / 支部会員数 / 編集後記



表紙 Photo:橋本 修一

成田山新勝寺総門(平成十九年十一月建立)
五間三戸の十二脚の形式による総檜造りの楼門になります。二階部分には、生まれ本尊八体仏が奉安されています。宮大工は、世界最古の578年(飛鳥時代)に総業された金剛組の施工によります。楼門に入ってすぐ天井を仰ぎ見ると、格天井や檼の円柱と交差する臺股など息をのむような空間構成が目に入ってきます。また見所の一つに、その臺股に彫刻された十二支があります。これらは、現代の名工、塚原桂昌氏、福島政山氏、北澤一京氏の作によります。